賀茂社記録　十四

832
97
305

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第14冊』請求記号 832-305
ガラス使用

832
97
305

加百七

御戸代會
相嘗會
卯祓

本宮權殿御內陣神供備樣圖 諸具置處 神服出納

七月七日 御戸代會 臨時祭 小祭 同十五日等之御神幸之圖アリ

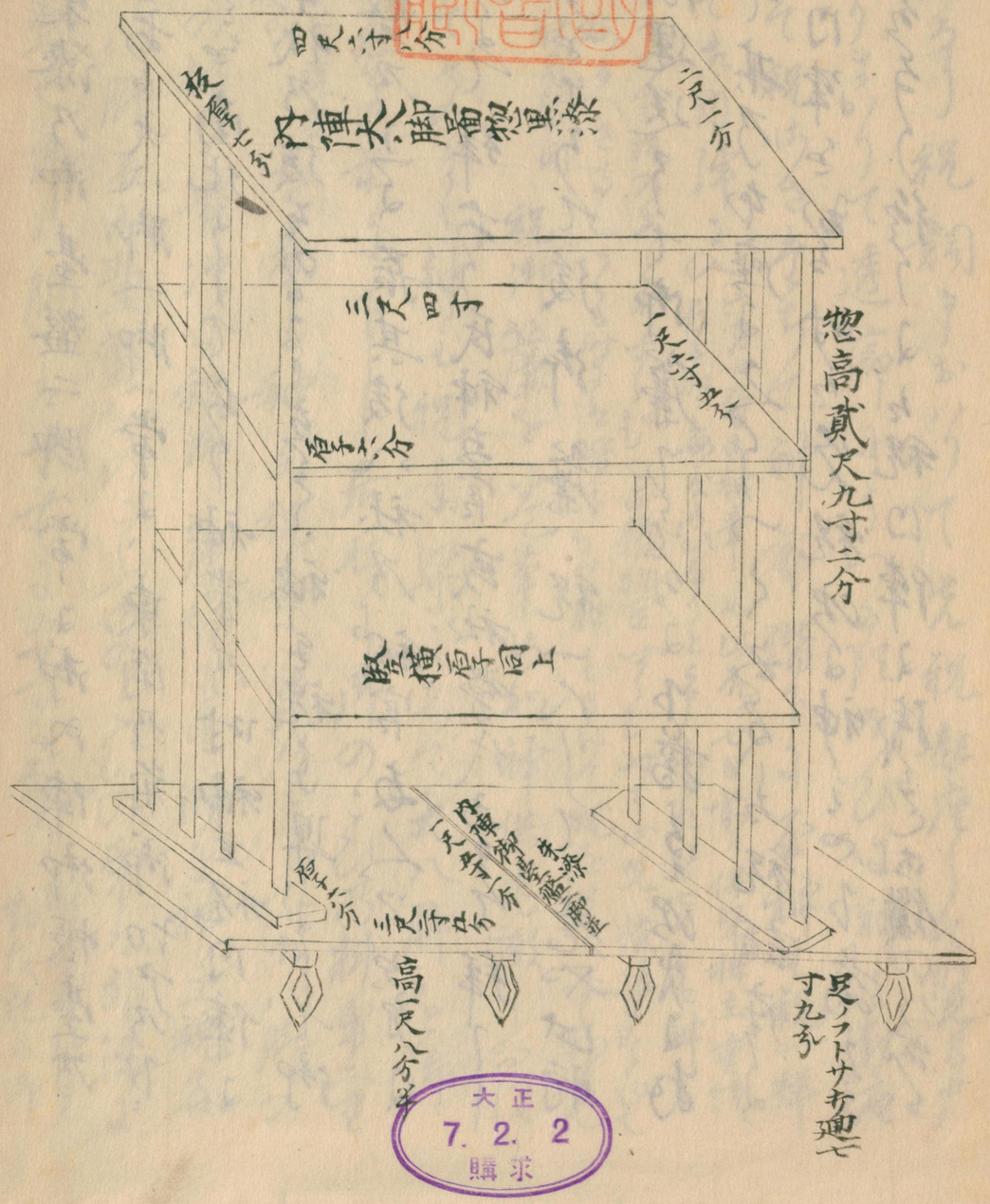
七月七日 九月九日

七月九日 同 七日

14

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第14冊』 請求記号 832-305　ガラス使用

帝國圖書館藏



大正
7. 2. 2
購求

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第14冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

右朱漆乃御臺盤二脚ハ常ハ御内陣御帳臺乃
前ニある大八脚一脚ハ常ハ東南乃角御切戸乃下
なるに南北ニて有り神事乃時神主祝内陣ニ
入平伏乃後その臺盤ニ向ひ神を祝ひ奉て御
臺盤乃上ニ置其後八社乃祠官或社務代ハ出
土居ニて拝有り氏神ニ宮或社務代ハ出て拝
終るを待て後御簾ハ祝一人ニて巻ハ時
神供運送ニて御簾ハ祝ハ御臺盤乃下ニ置ニ
して其乃本座ニつく又祝詞座ニ
着内陣を窺ふ時ハ先祝詞を
遅ふ奏り終りて祝内陣ニ
ハ入て御簾を巻終りて祝詞座ニ
ハ入て御簾を巻終りて祝詞座ニ
ハ入て御簾を巻終りて祝詞座

八脚案角、直て後結ひ掃き各
くあるべくあるべき事
一神供祢宜方ヨリ景物おまて三宝の根笹御墓盤ともに悉
神主ヨリ伝奉ル祝取次事ヲ
御贄御鳥御酒等ハ祝ヨリ
宮ニ而ハ祝ヨリ受取中ノ祝ヨリ受取ル
宮統中ノ祝方ヨリ祝悉伝奉ル
一景物ヨリ御内陣おまめ物の類
十一月晦日ノ条ノ榊計ヨリ正権ともに青貝の小八脚ニ
（ニ字ヌケ）
ヨリ伝奉ル

享保七年六月晦日御戸代會正祝重治故障代官兼成参勤

五　四　三　二

御飯 八 剌鰭
御贄 七 同 十 同 十二
御鳥 六 同 九 同 十一
年奠　年奠

一　九

十三 両
日　ササラ

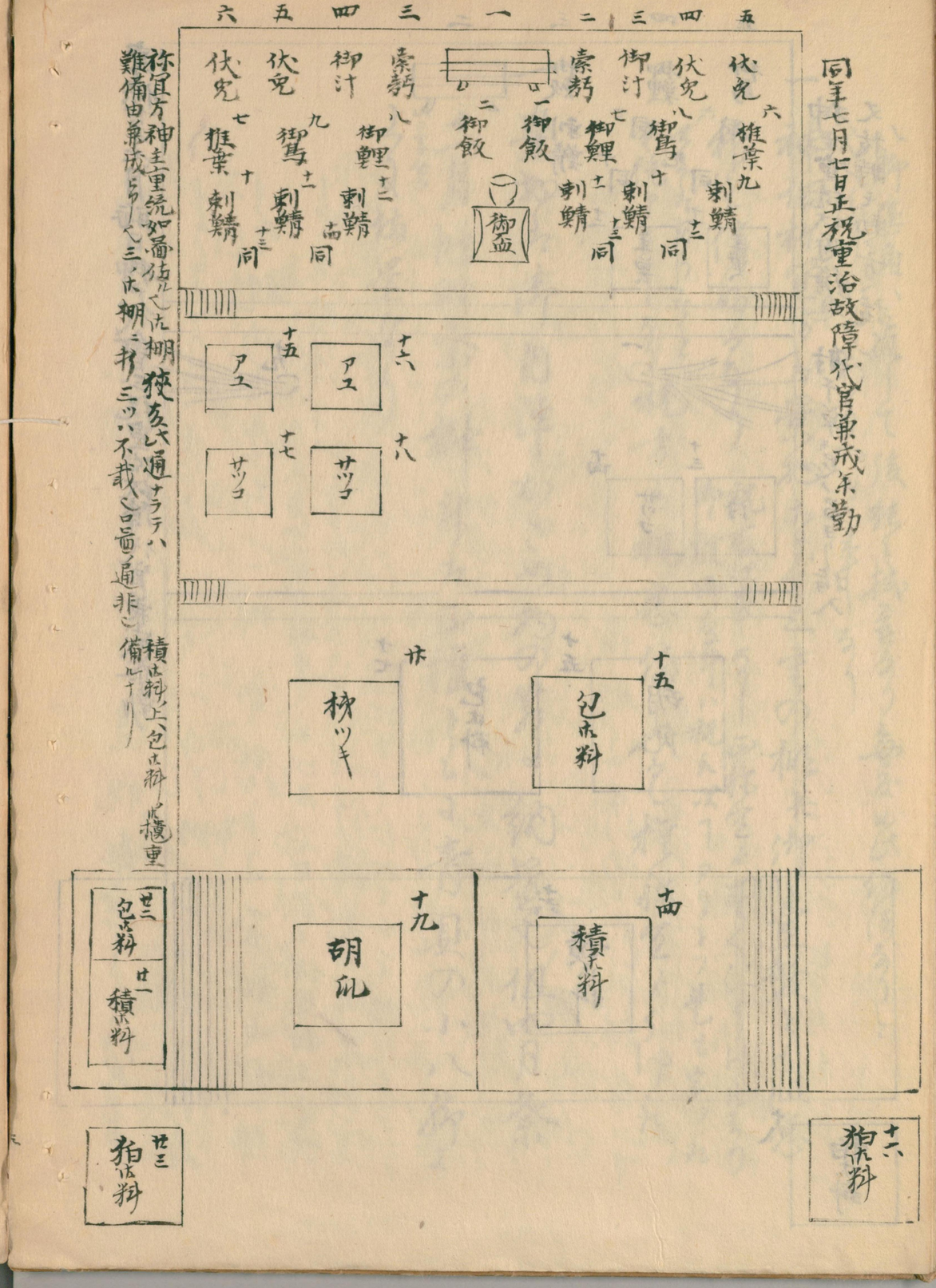
十五　十七
胡孔　包ム料

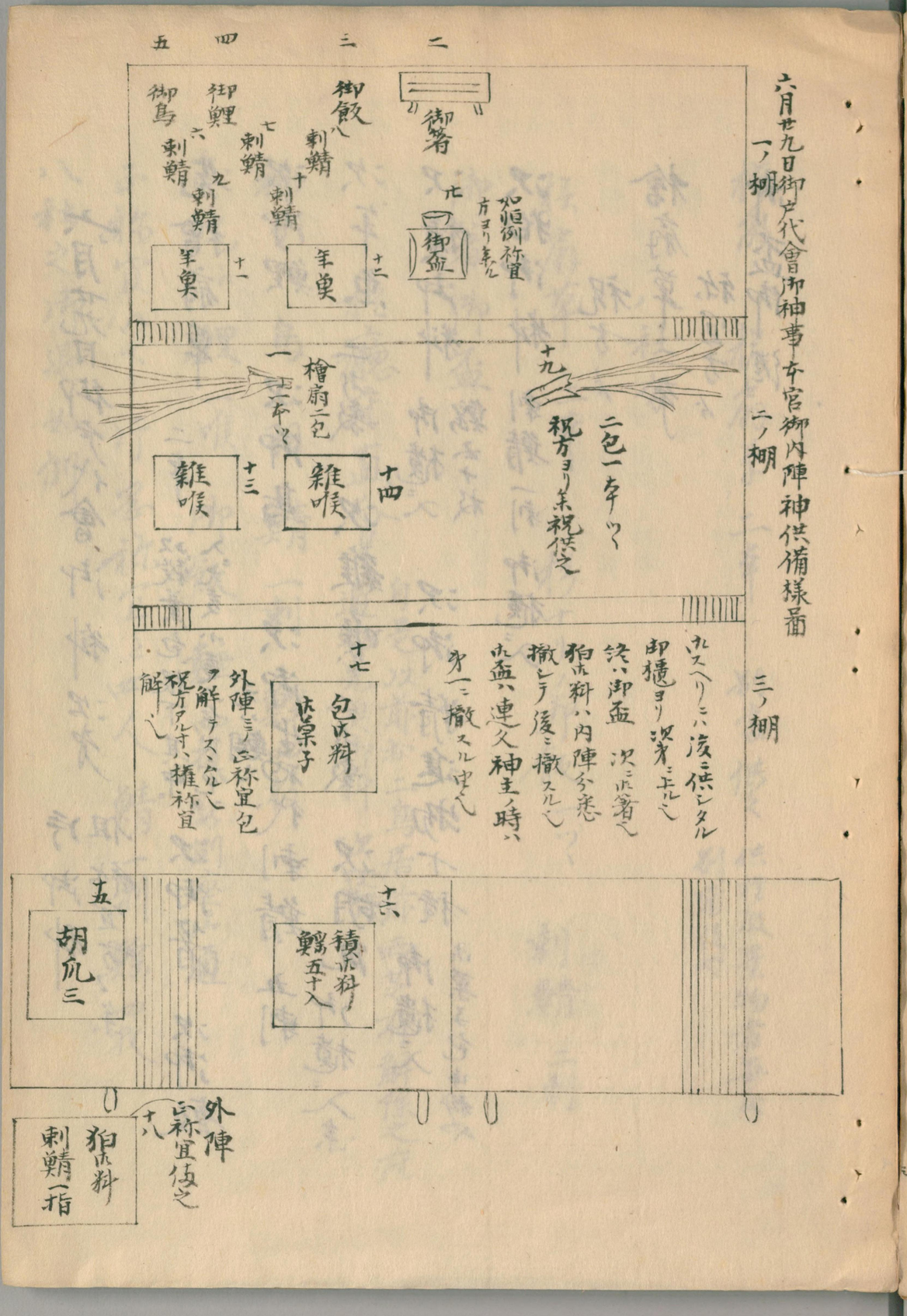
十六
積ム料

十八
狛ム料

神主重統ヨリ通備進
又按時モ初ノ方ヨリ按ス
射手草ヲ足ノ召ヨリ指入

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第14冊』 請求記号 832-305
ガラス使用





国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第14冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

六月廿九日御代會御料理次第

先檜扇草　二本　以穀葉包根下其中入九麦小麦二合
次御鯉　次御鳥　次御生魚代　元ハ鯛ノ心
次年魚　二折敷　次雜喉　二折敷　次胡飢　御檜ニ入
次積御料　御檜ニ入　鰺五十枚　次御精進物十種　御檜ニ入　古菓子包ニ而料ヤ
次狛御料　剌鯖一剌　御檜ニ入
祝方ノ
檜扇草二本
祢宜方ノ
御盃御酒

檜扇ニ檜扇草二本　別當供之　供控取景物者每度別當役ヤ
八社ノ
檜扇草　二本　杉ナリノ御飯一ツ　剌鯖　二剌
御箸御盃
於廳庭直會　自是以前ハ通物先奥御料　次第ヤ
神主ニ鳥一羽　鯖一剌　鰺四枚
正祝ニ鯉一喉　御飯　鯉四枚　ハ例座ニ通
正祢宜以下ノ宮祢宜ト四人　鯖一剌　鰺四枚
八社之御退如例

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第14冊』 請求記号 832-305　ガラス使用

小月故ニ
廿八日 廿九日 七月朔日 三ケ日 日供茶也 恒例
なまこ 菓子 菓子 菓子 別限ま弁人
案内 一家中 廿九日 朔日 ハ 朝飯前ま 参ら

七月七日御節供本宮御内陣畫

一ノ棚

御鳥 御鯉 刺鰭 雉菓 伏兎 伏兎 御汁 素麺 御飯 刺鰭 刺鰭 御飯 素麺 土 御汁柚入 刺鰭 伏兎 土 刺鰭 雉菓 十四 御鯉 十三 刺鰭 御鳥 羊羹 十六 羊羹 十五

御著

御盃

在右方ノ俎ハ祝方ヲ撤スル時ニ先ツ祝方撤ヒテ後ニ撤スルナリ

如例祝方俎ハ祝方ヨリ撤ス後ニ撤スルナリ

二ノ棚

撤スル時ハ祝方ヨリ撤ス後ニ撤スヘル如例

十七 雉喉 十八 雉喉

十七ノ雉喉モ式ノ如ク重流ノ棚ニ居ヘキ筈ナリ然レトモ上ノ棚吉外セマクテ鰭ノカサヲカケテ羊羹ヲサキヘヨセタレハ雉喉ハヘギハノラス、故ニソノマヽ中棚ニヘキ居スルナリ上ノ棚ヲ賞玩ニテ随分ソナエルト見ヘタリ

十八ノ雉喉ハ式ノ如ク重流ノ棚ニ居ヘキ筈ナリ然レトモ上ノ棚吉外セマクテ鰭ノカサヲカケテ羊羹ヲサキヘヨセタレハ雉喉ハヘギハノラス、故ニソノマヽ中棚ニヘキ居スルナリ上ノ棚ヲ賞玩ニテ随分ソナエルト見ヘタリ

十八ノ奥ニ一膳ノ様ニ後ノ祝方ノ奥鳥頭ヲ東ニ向備ノ人料ノ如ク御鯉連ネ之時ノセ様ナカヒタルヲ祝四陣ニテウチカヘシ居スルヘシ外ノサハナト丸違ナキヘシ鯉計別當居ノヘルト見ヘタリ

廿 廿二 包ム料 菓子 包ム料 菓子 廿一 積ム料 鰯五十入 積ム料 鰯五十入 廿三 狛ム料 刺鰭一指 狛即料 刺鰭一指 陣外

三ノ棚

十九 胡瓜 拂ヅキ

国立国会図書館 タイトル『賀茂社記録. 第14冊』 請求記号 832-305 ガラス使用

七月七日御料次第

祢宜方

先御箸　沢御鉢御飯
田ヨリ出ル祢宜方ハ神主祝方ハ祝直會ノ廊下ニテ友人中ヨリ別席ニ移ル
沢御汁　御洗入柚丸二ツ入　沢伏兎　上置　沢同　上ニ敷
沢椎葉餅　沢御鯉一喉　沢御鳥一羽
沢御生物代　剌鱈五剌　沢雉喉二ヘキ　沢鯉魚二ヘキ　沢索麺一盤　穀葉ニ盛有紙ヲ
沢胡飢　御檜入有沢ノ二条豪子上　沢栂ツキ　御檜ニ入
九人分出ル小山小丈モ上ル
沢積御料　御檜ニ入　鰯五十枚　沢御精進物　御檜ニ入十種　沢狼料

祝方

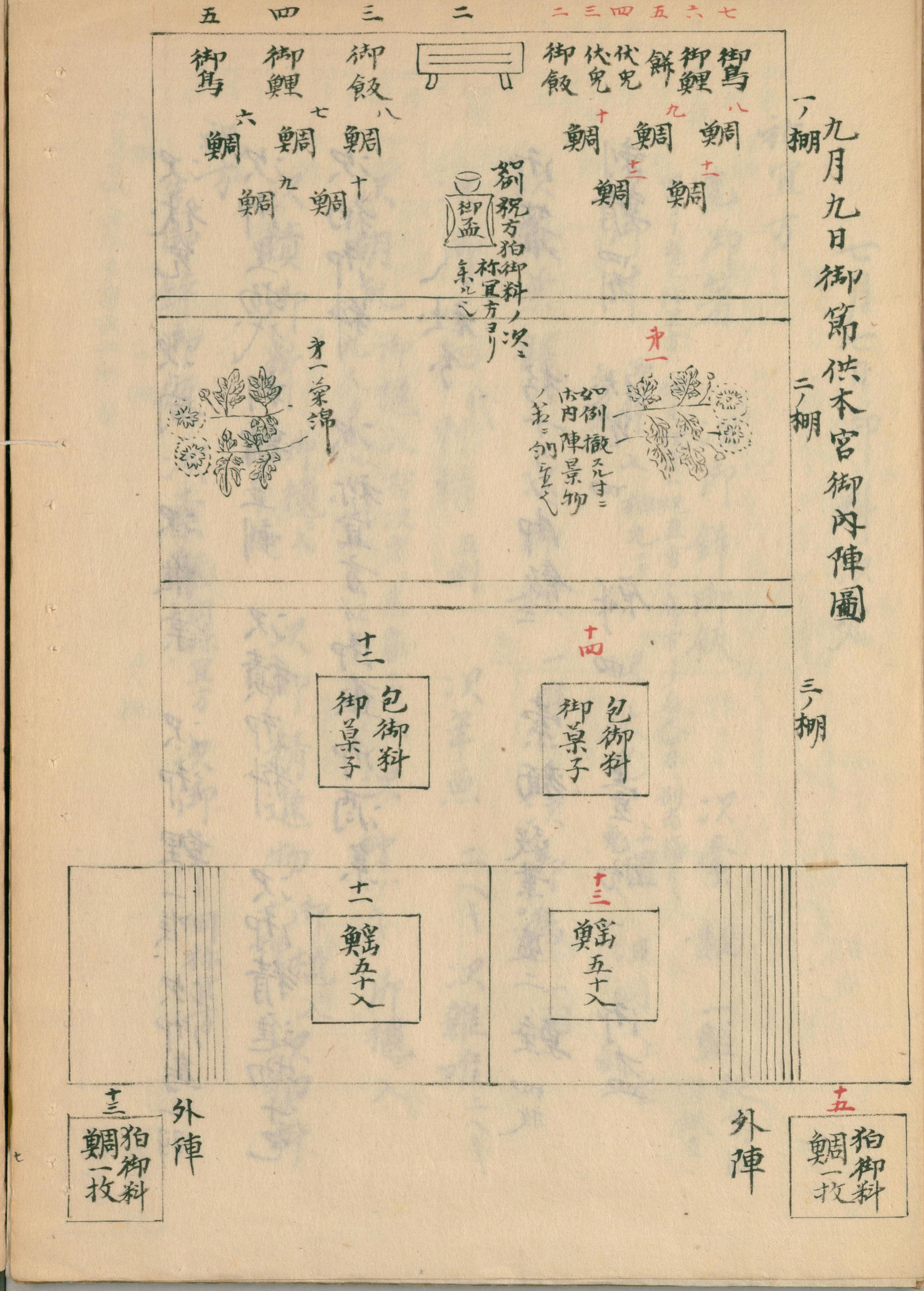
先御鉢御飯　沢索麺　同祢宜方　次御汁　同祢宜方

沢伏兎　沢同　沢椎葉
次御生物代剌鱈五剌　沢積御料　沢御鯉一喉　次御鳥一羽
次狼御料　次祢宜方ノ御盃御酒ニ

八社ノ

御箸　杉ナリノ御飯ニ
剌鱈四剌　伏兎四　餅四
索麺　穀葉ニ盛ニ鰺四枚
壹ツ物一　御盃

九月九日御節供本宮御内陣圖



九月九日御料次第

祢宜方

先菓子 二本

次御鯉一喉

次御鳥一羽

次御生物五喉

次積御料

次御飯

次御鮨

次御鯉一喉

次御鳥一羽

次御生物十包

次狛御料

祝方

先菊綿二本

次御飯

次伏兎

次同

次御鮨

次御鯉一喉

次御鳥一羽

次積御料

次御精進物十包

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第14冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

沢狛御料　　沢御盃御酒　称宜方ゟ例

八社ゟ

菊綿　二本　　御箸

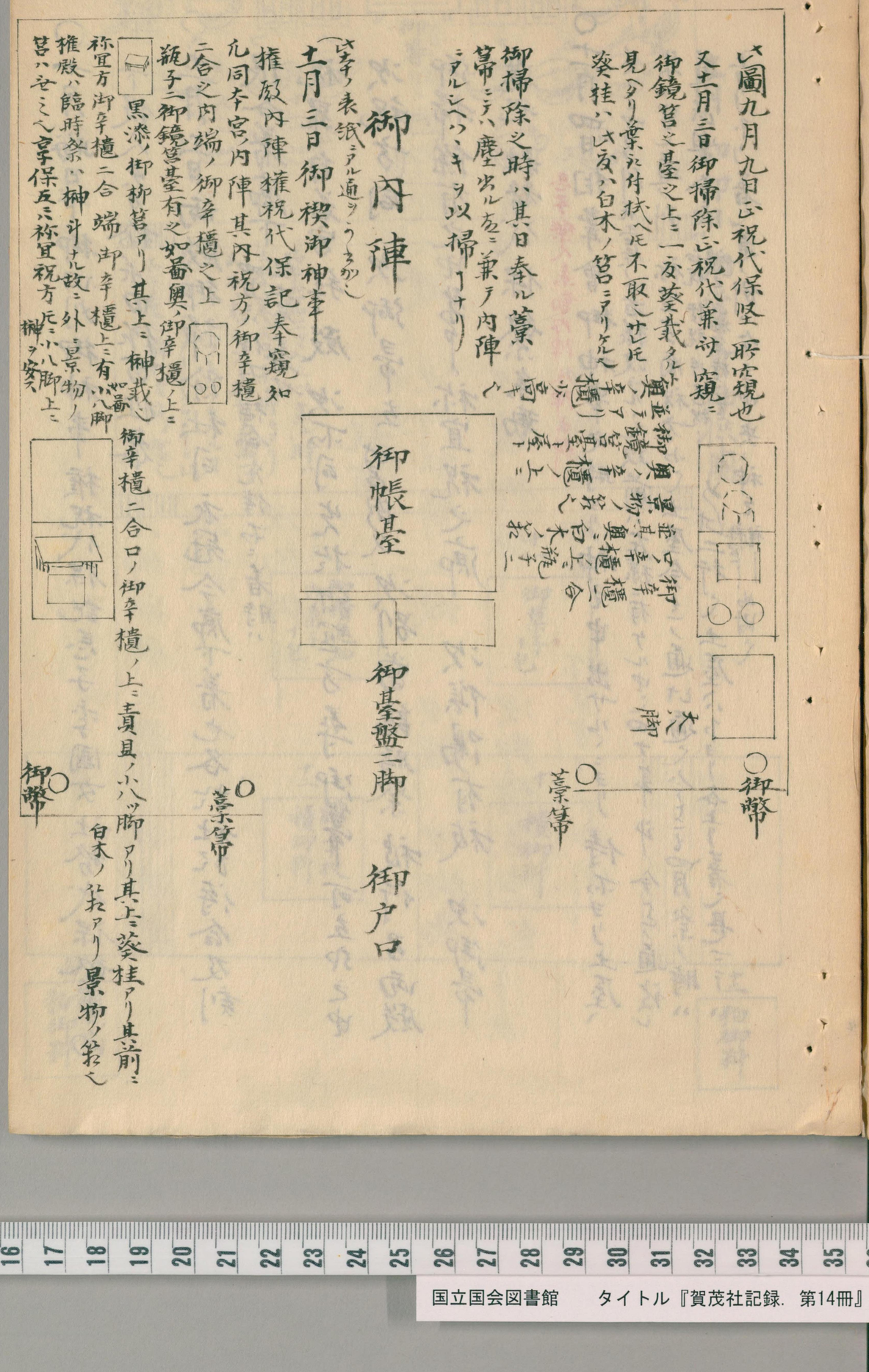
鯛　四枚ツヽ　　鰹　四枚ツヽ

餅　四ツヽ　　きつね　一喉ツヽ　　伏兎　四ツヽ

飯盛　四杯ツヽ

右ハ例ノ如ク調ヘ献ス

御盃


十月九日正祝代保堅　昨宮視也
又十月三日御掃除正祝代兼补　窺ニ
御鏡筥之墓之上ニ一反葵栽ル方
見（タリ葉ハ付代ヘル不取ルサレ
葵挂ハ、又ハ白木ノ筥ニアリ
御掃除之時ハ其日奉ル黛
第ニアハ、鹿皮ル左ニ黛ノ内陣
ニアルヘハ、キヲ以掃ナリ
（紙ニアル通ヲうつす）
十月三日　御禊御神事
権殿内陣権祝代保記奉窺知
九同本宮内陣其内祝方ノ御辛櫃
二合之内端ノ御辛櫃之上
瓶子二御鏡筥墓有之如畨奥ノ御辛櫃ノ上ニ
黒漆ノ御榊筥アリ其上ニ榊栽ル
祢宜方御辛櫃二合　端　御辛櫃上ニ有
推殿ハ臨時祭ハ榊計ナル故ニ外ニ景物ノ
筥ハセニ祢宜保反ニ祢宜祝方ニハ榊ノ
御辛櫃二合口ノ御辛櫃ノ上ニ責且ノ小八ツ脚アリ其上ニ葵挂アリ其前ニ
白木ノ筥アリ景物ノ筥ヲ
御帳墓
御墓盤二脚　御戸口
御幣
御幣
御簾
御簾
沢脚
御辛櫃上ニ有八脚
御辛櫃
御辛櫃
御辛櫃

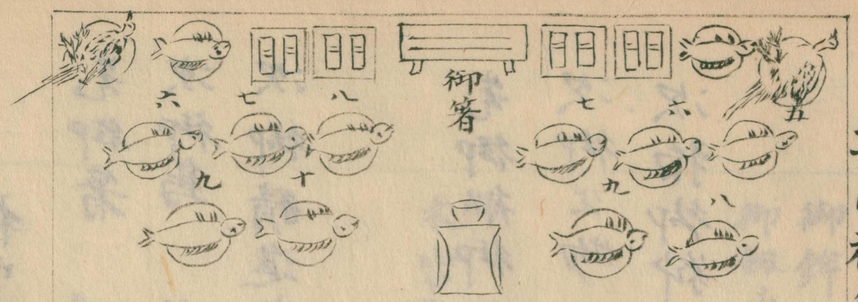
○十月晦日下御田刈御神事權祝代保記忌子孝國女社務代保繁系向下役人矢乃祢并田作百性參

○十一月三日兩殿御掃除社司衣冠令廊下限各着廊下 四月三侍石ニ待合允侍石ニ着時ハ必土屋着也

祝昇自若宮拜殿 次不司先於祢宜方 尋御幕 可立外之由次祝方同 次御帚立 皆御入 次別當臨時祭 被行る兩殿御掃除有之由第ノ祢宜祝之廊 次陰陽有祓 次御帚進也 社務代保繁系勤

○十一月四日相嘗會御神事之時ヨリ神主申出サルヽニヨリ侍石ヨリ土屋、忌子樂人系勤内陣外陣庄料

ノスヽヤウノ列并土屋ノ着樣改ルヽ以前ハ左樣ニ有ケルヲ第ル由シ道ノ列ハ祢宜方南祝方小シ土屋今ヲノ通ヒ通ル式通ル今度ハ正祝控祝庁名祝ニ一ヲ道モ式通ル今度ハ神主正祢宜控祝ニ一ヲ才二行ル土屋ハ下ヨリ各上リ着ル道ノ例ハ今ヲ中央ニ神ヲ祢宜祝ニ一ヲ附シ上リ下リ着ル道ノ例ハ今ヲ中央ニ神ヲ祢宜祝ニ一ヲ附シ



十月 初卯日 相嘗會神供圖

菓子土器三ツ入三ツ第ル時ハ三度ニ第ル又五ツ第ル時モアリ又五度ニ第ル又サキ菓子ハ土器一ツ

十一 ㊀ モアリ一ケツヽテモ此ニ居ル前代変ル今カクル

十一 御菓子十包

十三 御精進物 御菓子十包

十 積御料

十二 鯖五十枚 積御料

十二 鯛一枚 狛御料

十三 狛御料

西

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第14冊』 請求記号 832-305　ガラス使用

相嘗會神供　祢宜方

先御箸　次御船御飯二膳　次御船餅二膳
次御鳥　次御生物　次茄子
次御精進物 中ニカウカイアリ　次狛御料

祝方

先御船御飯二膳　次御船餅二膳
次御生物五喉　次積御料
次狛御料　次御盃御酒　祢宜方ヨリ始ル例

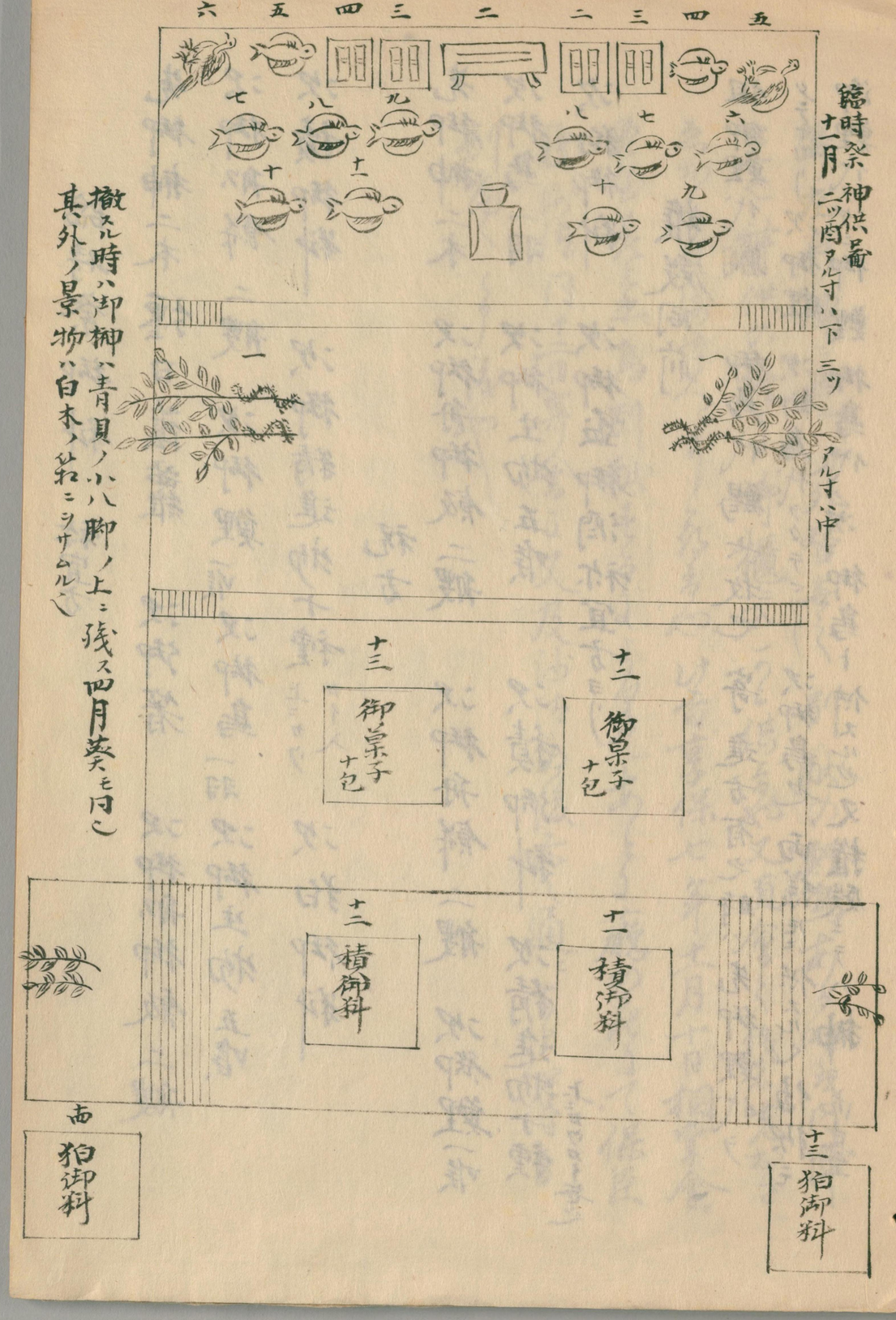
次鯉　次御鳥
次御精進物十包カウノ無

本宮御内陣

御鉾
御劔木ニ
御鏡筥　同臺　景物納筥　瓶子二並
御帳臺
大八脚
○御幣

青貝小八脚
景物納筥小八脚
之前ニアリ
○御幣

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第14冊』 請求記号 832-305
ガラス使用



臨時祭 十一月 神供篇

二ツ図アルヲ以下三ツアルヲ以中

撤スル時ハ御榊ハ青貝ノ八脚ノ上ニ残スヲ四月葵モ同シ

其外ノ景物ハ白木ノ折ニ入サムルヽ

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第14冊』 請求記号 832-305　ガラス使用

臨時祭御料　祢宜方

先御榊二本　濃日蔭蔓雑　次御箸　次御船御飯二艘
次御船餅二艘　次御鯉一喉　次御鳥一羽　次御生物五喉
次積御料　次御精進物十種（上ニカウカイ入）　次狛御料

祝方

先御榊二本　次御舟御飯二艘
次御鳥一羽　次御生物五喉
次狛御料　次御盃御酒祢宜方ヨリ

権殿同前

但御鯉代鯛　御鳥代鶴六枚也　寄進方有之時ハ先御鯉代ヲ
（タテマツリ）次御鯉　次御鳥代ヲタテマツリ　次御鳥也　両様ニ供スル心得ニて
御鯉代ノ次ニ御鯉　御鳥代ノ次ニ御鳥ト供スル也又権殿ニテハ榊ヲ先ニ立

盤ノ左右ノ端ニ居ル　已外替ル〳〵別献ノ鯉鳥ある時ハ内陣
定之神供ノ終ル沸橋ニ入ル供ル又直ニ後ニ先おさ
ゐ〳〵ハ供ル也　享保七年十月十日相掌舎
奥座ニ着鳥別献ニ而ハ有之ニ而保度
殿ニ出ル時ハ別当ニ手渡ス
別当ハ手渡ス

一享保五年正月元日正祝嗣片器祝依平勤之
御神服例ハ四度ニ五度ニ而之也但依平不勤
右左右之御幸櫃開覆也称宜方ノ御幸櫃ヲ云ル也
又御扇不見ニ于御几帳之内ニ而探見也神服次
第先夏御祀　二　御単　赤大口
三　御襲　紅袴共　四　御表袴　左右歩詰
子　御袷　白綾地　御指貫　左右歩詰
左藤保富

一同年四月廿二日左標左神幸之時左藤保富運送之
先御袍　御指貫　御歩詰　二　御単　赤大口

三表熨斗 四御給

右之通正月檄スル次第ト御遣ス正月二後ニ檄シタル

初ノ膳（一ニ入、以下ヘキ）

四 御鳥 鰯五 鰯九
三 御鯉 鰯六 鰯
二 御飯 鰯七 鰯八
一 御封米
御箸

十二月廿九日小祭 片御料

十一 御菓子十包

十 鰡五十枚

十二 狛御料 鰯一枚

小祭 片御料

先御箸　汐御封米 三交ニ入

右二色祢宜方ヨリ来

祝方ヨリ

先御封米 三交ニ入　汐御飯

汐御生物 五喉　次積御料

次狛御料　汐御盃

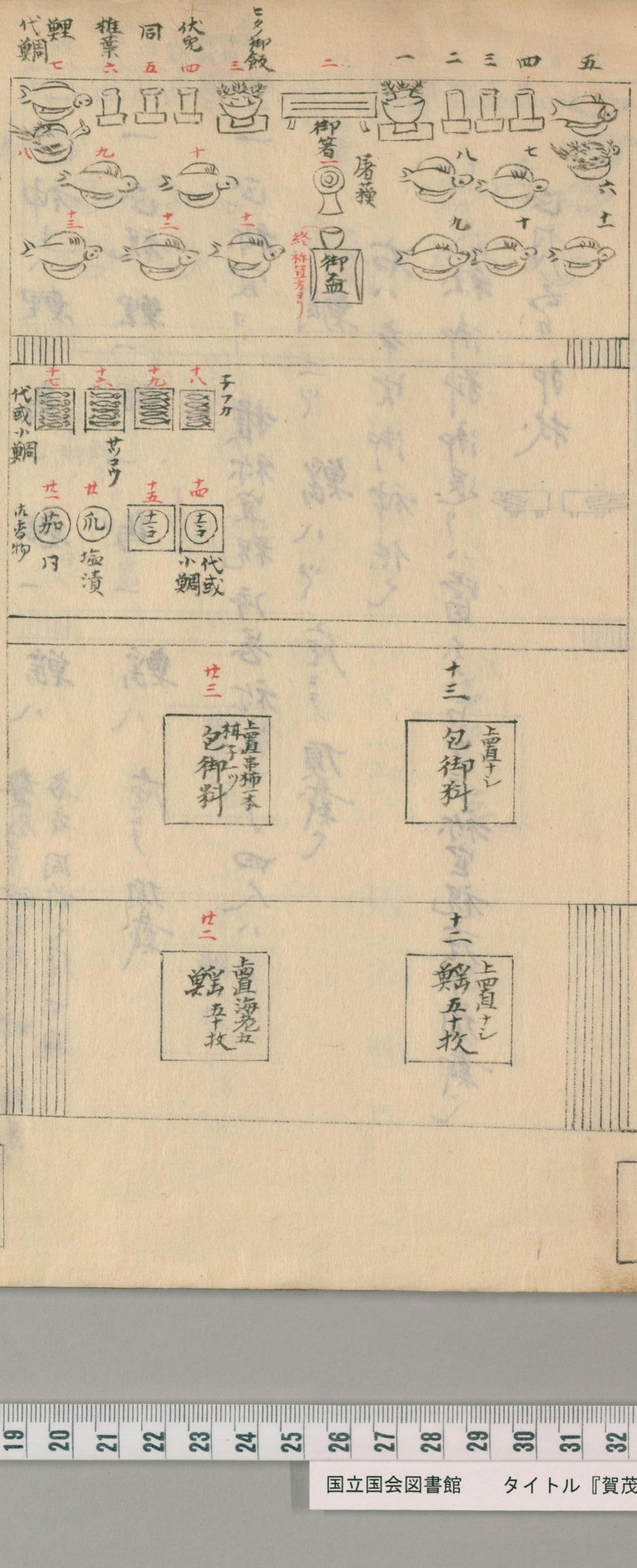
於楼門軒下座如御前御封米并ニ各直礼

神主、鯉一喉御飯 盤四枚　正祝、鯛一隻一盤四枚 お座料礼例

正祢宜以下片岡祢宜ニテ四人 鯛一枚 鱚四枚ツヽ

汐御鯉一喉　汐御鳥一羽

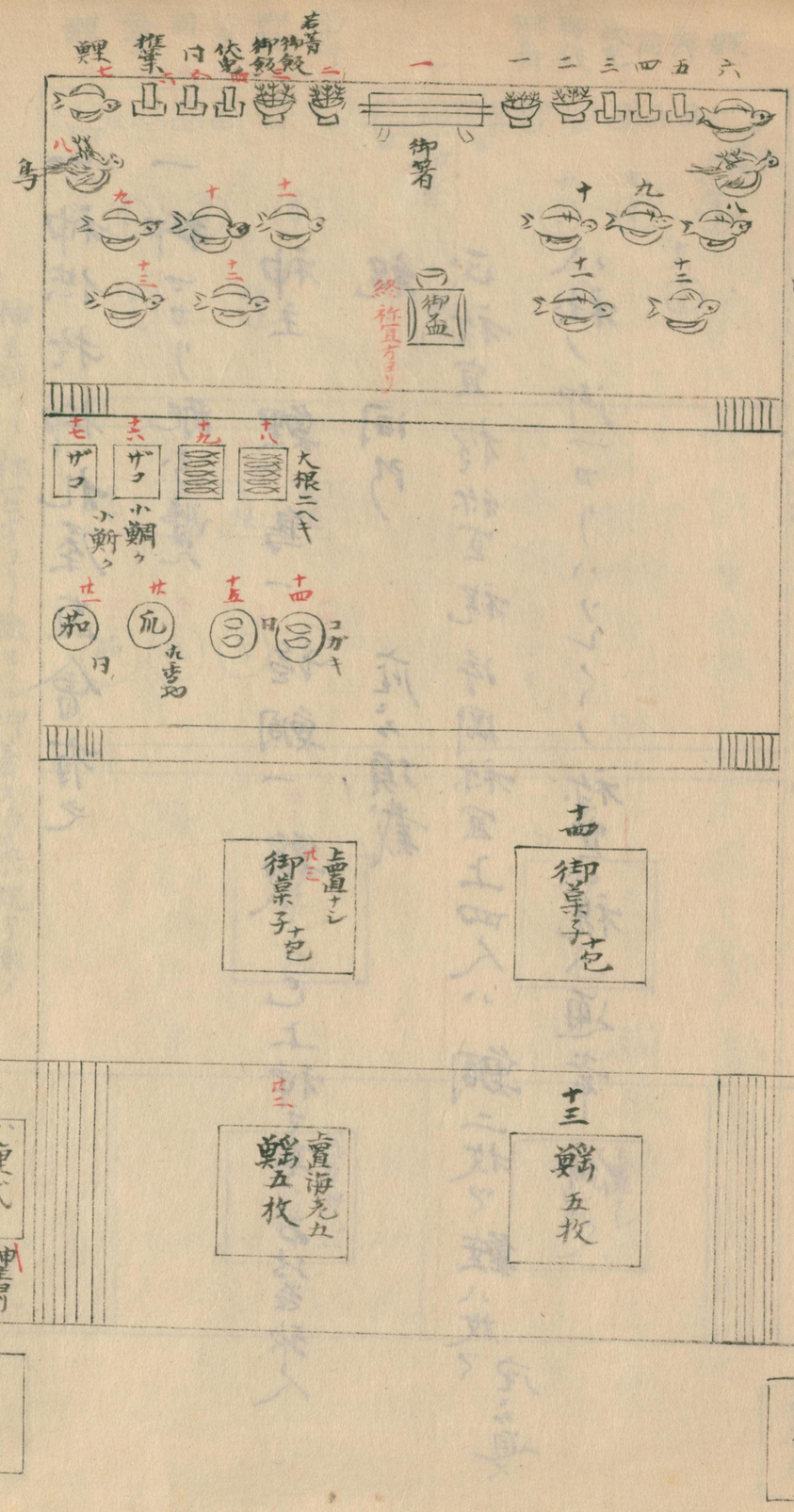
汐御精進物十包



国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第14冊』 請求記号 832-305　ガラス使用

社司廳屋神供頂戴

一神主、鯉一鳥一鯛一鰭八
一正祝鯉一鯛一鳥一鰭八
一正祢宜ヨリ權祢宜祝汙袮宜
鯛二ツ鰭八ツ座ニテ頂戴ス
右ハ幸宮御神供ス
八社御料御退リハ當ケニワケテ祢宜祝座ニテ頂戴ス
正月ヨリ卯杖



一若菁御飯祢宜方ノ御退神主、同祝方ニテカリ已祝、

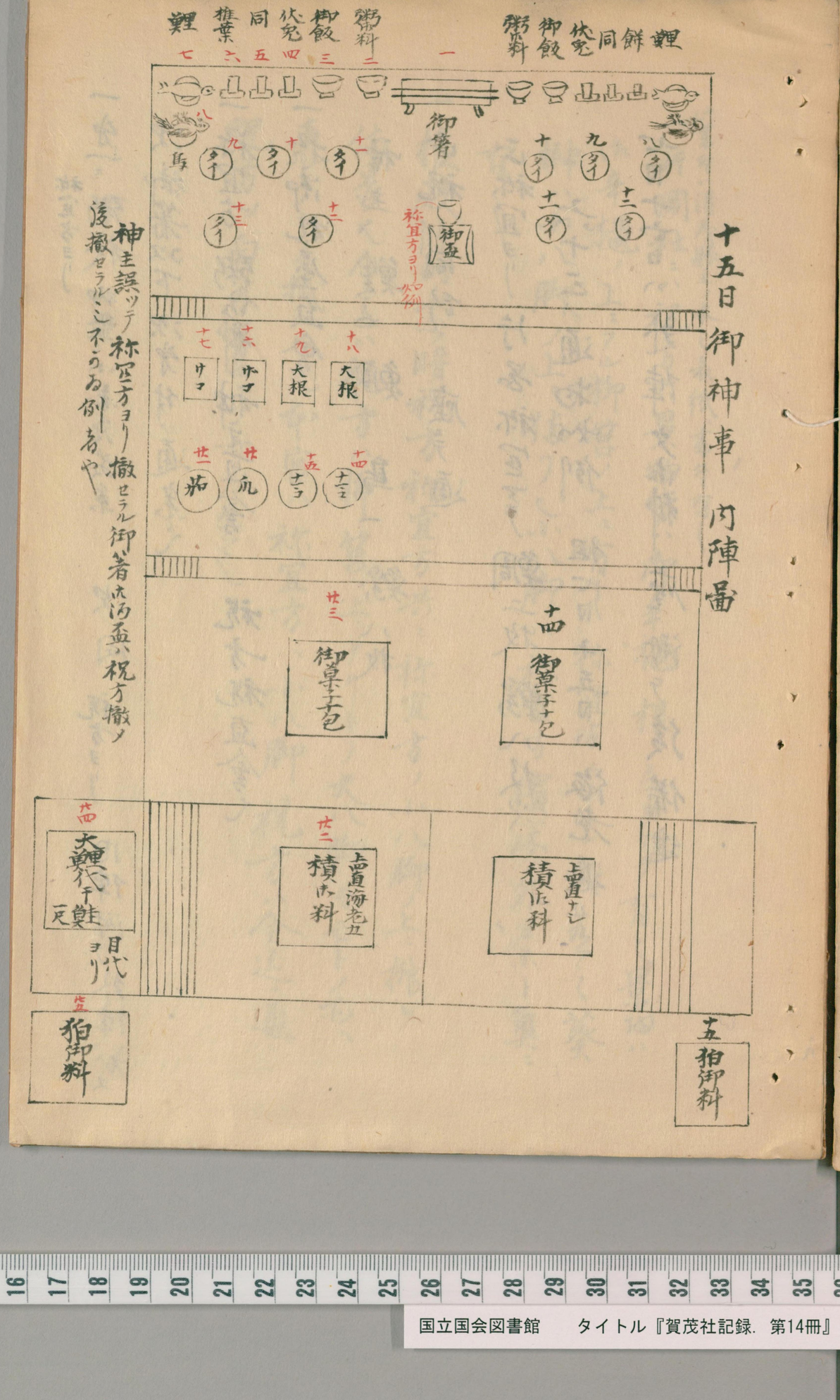
一神供於御礼屋直會有之

一御マカリ配分膳

神主　鯉一　鳥一　鯛一　鰡八
已上神主亭ニテ拵差出ス人

祝　同断　座ニ有
已祢宜持参祢宜祝宇岡祢宜上四人ハ鯛二枚ツヽ鱸八枚ツヽ座ニ有ル通ス

八社ノ御マカリハソレ〳〵ノ祢宜祝ヘ通常例ノ



国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第14冊』 請求記号 832-305
ガラス使用

一汁一菜 粥杖 御盤ニ小高足敷糸 次同 祝方ヨリ 内陣溝ヲ外陣ヘ
次御箸以下次汁ノ通糸ヘ

一祢宜方 粥法料 神主直會 祝方祝直會ヘ

一於御礼屋直會

神主、鰹一 鯛一 鳥一 鱠八枚

正祝 同断 座ニ通

正祢宜ヨリ 片居祢宜ヲ 鯛二枚 鱠八枚ツヽ

六十二ノ通物如例 但七日十五日ハ海老通ル

七日十七日ハ外陣ヲ法料 座溝テ 後備進

一片岡社ニハ祝方ニハ景物筥ハ御幸櫃ノ根ニ立カケテ有ヘ景物ハ
ハ幸櫃ノ上ニアル柳筥ノ上ニ有ヘ祢宜方ニハ左ノ通ニ祭
榊ハ小八脚ノ上ニ俵ヲヘ小八脚ノ上ニ俵ヲヘ小八脚ハ祢宜方濱床ノ外ヨホト奥ニ
有ヘ

一権殿陳時祭ノ時祝方祢宜方共ニ
俵並ヘ今ニハ祝方ハ柳筥ノ上ニ
本ヒテカラ拭ハヘヘヘ本宮ハ祢宜方ニ
祝方ノ白木ノ筥ニヲサメ来ヘ

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第14冊』 請求記号 832-305　ガラス使用

右者清茂潮翁所被記置也以弟為本写之者也

宝暦四年四月十六日

従四位上賀茂清達

元治元甲子年六月廿九日晴　神主松下経久子時故障代経啓勤役之時之情状

此を冊令恩借写畢ぬや

832
97
305

国立国会図書館　タイトル『賀茂社記録. 第14冊』 請求記号 832-305

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『賀茂社記録. 第14冊』 請求記号 832-305

ガラス使用